

おれんじニュース

No266

2012年5月号



早春の佐賀県 金立山に登る。頂上展望台はまるでハウスツリ—3/20

★集会・委員会のお知らせ★ 山行の一步は集会参加から				
	2012/5月	2012/6月	時 間	場 所
運営委員会	9日(水)	13日(水)	19:00~21:30	西諫早公民館
ひまわり集会	11日(金)	7日(木)	13:30~15:30	西諫早公民館
全体集会	23日(水)	27日(水)	19:00~21:30	西諫早公民館

★ 会員一人一人が運営委員です。みんなでオレンジHCの運営に参加しましょう。





最近めっきりフットワークが軽い中里氏



森のシャワーロードに自然石で出来た砂防ダム



そこから登って
来てみんな？



春の由布岳
頂上は残雪
と霜柱 4/1
まだ、冬だった



日向岳頂上オレンジ初登頂



由布岳頂上は円能寺氏が一番のりで



5月山行計画

部	技術研修部	山行部	ひまわり山行部	技術研修部
月・日	4日(金)～6日(日)	20日(日)	25日(金)	27日(日)
山名(行事)	五家荘の山50k縦走 雁俣山、京丈山、平家山、五勇山、烏帽子山、白鳥山、大金峰、小金峰	筑肥の富士3山 可也山 二丈岳、十坊山	諫早諫江 88か所巡り 第二回目	鬼ヶ鼻岩(840m)
地図	国見岳・椎原・葉木			背振山
集合場所	西諫早駅 7:00	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 9:00	諫早駅裏 8:00 西諫早駅 8:10
難易度	健脚&ゆっくり	普通	ゆっくり歩き	初心者
帰着時間	21時頃	18時	17時	17時
歩行時間	5～8h(1日)	6h	3.5h	3h
交通手段	マイカー	マイクロバス	公共交通機関&徒歩	マイクロバス
宿泊施設	民宿	日帰り	日帰り	日帰り
温泉	有り	有り		有り
参加費	25000円	5000円	交通費のみ	3000円
申込期限	随時	定員になり次第	随時	定員になり次第
集約	佐原満子	田中静香	中村かずえ	佐原満子
備考	奥深い山を堪能 ヤマシャクヤクも。		弘法大師の足跡をた ずねます。	
感想文提出	5/16	5/30	6/5	6/17

技術研修部より

5月26日(土) セルフレスキュー (JR西諫早駅9:30集合)

6月30日(土) セルフレスキュー (JR西諫早駅9:30集合)

7月以降の沢登り

7月21日(土) 滝沢谷(佐賀県三瀬) (JR西諫早駅9:30集合)

7月28日(土) 洗谷から井原山登山 少し沢登り (JR西諫早駅9:30集合)

オープンハイキング 1回目: 4月28日(土) 雲仙、矢岳・高岩山(諫早駅裏8時集合)

2回目: 5月12日(土) 佐賀、天山(諫早駅裏8時集合)



6月山行計画

部	山行部	技術研修部	自然保護部	技術研修部
月・日	3日(日)	6/8(金)～6/12(火)	15日(金)	17日(日)
山名(行事)	九重・平治岳 (1642.8m)	花の島佐渡で花ト レッキング	五家原岳クリー ンハイク	石谷山(754.4m) 雲野尾峠(400.1m)
地図	大船山		多良岳	中原(佐賀県)
集合時間	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早 7:00 出発	西諫早駅 8:00	諫早駅裏 8:00 西諫早駅 8:10
難易度	初～中級		全員参加で	初級
帰着時間	20:00 頃	6/12 諫早着 20:00	16:00 頃	17:20 頃
歩行時間	5.5h		4,5h	4.5h
交通手段	マイクロバス	レンタカー	マイカー	マイクロバス
宿泊施設	日帰り	バス&旅館	日帰り	日帰り
温泉	時間次第で♨			時間次第で♨
参加費	5000 円	80000 円位	1000 円	3500 円
申込期限	定員になり次第	随時(15名まで)	随時	定員になり次第
集約	田中	佐原	中村	佐原
備考	ミヤマキリシマ の綺麗な時です。	アオネバ溪谷とド ンデン高原トレッ キングとキバナカ ンゾウの鑑賞	シャクナゲを眺 めながらゴミ拾 いをしよう	御手洗ノ滝は左右 と上部に石仏が飾 られていて見事!
感想文提出	6/13	6/22	6/25	6/27

第33回定期総会開催



鎗水氏、山口さんの司会で議事もスムーズ



岩田氏、富永氏、岩永さん、國分さん、
浦田さんに永年表彰を授与

4月7日(土)24名の出席を得て第33回オレンジハイキング定期総会が開催されました。鎗水氏、山口さんの司会の下、活発な意見交換もあり、スムーズに進行していきました。新年度役員の選出、規約の改定、山行多数回参加者表彰等の後閉会後は山川集会所で花見の宴となりました。こちらの参加者は20名でした。

討議された主な議題

- ◎会員の減少について
- ◎会員のレベルアップ
- ◎リーダー養成技術力向上
- ◎専門部会の活性化
- ◎悪天候時の山行中止について
- ◎マイクロバス利用時の目的地ごとの価格の取りきめを明確にする。また、キャンセル料なども。

2012年度新役員

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| ★会 長：福岡正廣 | ☆副 会 長：富永徳麿・佐原満子・ |
| ★会 計：金丸直美 | ☆会 計 監 査：佐藤伯隆 |
| ★事 務 局 長：兵庫芳隆 | ☆事務局次長：山下ちず子 |
| ★山 行 部 長：中須賀孝正 | ☆副 部 長：鎗水律夫 |
| ★技 術 研 修 部 長：川原慶紀 | ☆副 部 長：坂口荘一 |
| ★ひまわり山行部長：小山準之介 | ☆副 部 長：林孝子 |
| ★自然保護部長：中里利行 | ☆副 部 長：中村かずえ |
| ★県 連 理 事：坂口荘一・松園朱實 | |
| ★県 連 評 議 員：山下ちず子(兼おれんじニュース担当) | |
| ★新特別基金担当委員：篠原弘二 | |
- (会員みんなが運営委員です。みんなでオレンジ HC 運営していきましょう。)

みなさん、賞品をもらってとてもうれしそうでした。(順位はかなり接戦でした。)



- 1位 川原慶紀
- 2位 山下ちず子
- 3位 下釜ミツ子
- 4位 田中静香
- 4位 林田ムツ子
- 4位 松園朱實
- 7位 中須賀孝正
- 7位 鎗水律夫



山行多数回参加 上位8位までの人達

2012年3月/4月の山行報



3月10日(土)

多良岳縦走マンサク鑑賞

(参加者) 中須賀、松園、中村、金丸(直)、林、佐原、下釜、山口、林田
小崎(外) (10名)

(行程) 西諫早 8:00—黒木駐車場 8:55 登山口 9:15—八丁谷 9:40—11:15 金泉寺 11:25—
西岳—12:25 笹岳南峰 (昼食) 12:55—中山越 13:30—15:00 八丁谷

(感想) 2月中旬頃インフルエンザにかかり体調をくずして以来1ヶ月ぶりの参加です。
登山で気になるのが天気、朝から陽がさして雨の心配はなさそうです。

中須賀さん松園さんの車で黒木登山口へ。すでに車が何台も止まっていて登山者も多い様だ。体操をして身体をほぐし登山開始。八丁谷で衣服調整などして松園さんの先導で金泉寺へ向かって登る。ガレ場を登り右も左もオオキツネノカミソリの葉が沢山出ていて誰かが「ここは銀座通りだァー」と言うので大笑い。にぎやかで楽しい。夏の花の時期にも来てみたい。まもなく西の越に出て金泉寺へ。ここで笹岳のところにマンサクが咲いているとの情報を得て多良権現はやめて西岳経由で笹岳へ向かう。

登山道は落葉樹が多く明るい北風が冷たく寒い。西岳の頂上からの下りは急坂続きでリーダーの松園さんが後に気を使いながら歩いてくださったのですべて怪我をする事も無く皆縦走路にでた。目的地笹岳には 12:25 着。

顔をあげるとあたりはマンサクの花。感激!青空にはえてとてもきれい!昼食をいただき記念写真も撮った。

帰路はヤブツバキやまだ堅いシャクナゲのつぼみを見つけたりしながら中山越へ下る。ここからうなぎで沢を右へ左へ数回渡って八丁谷へ下りてきたのは 15:00 だった。その後平谷温泉でゆっくり疲れをとり諫早へ。

車を運転してくださったお二方ありがとうございました。皆さまお疲れ様。(林田 記)

3月20日(火)祝日

金立山(502m)

(参加者) 川原、佐原、中須賀、小山、川内、下釜、金丸、中里、山口、林田、林、山下
(佐賀労山・案内) 辻さん、江口さん、宮永さん (合計 15名)

(行程) 諫早駅裏 8:20—西諫早駅 8:30—高速諫早 IC—佐賀大和 IC—弘学館前—正現稲荷神社の鳥居前パーキング(佐賀労山のメンバーと合流) 10:00—緑のシャワーロード 25番から出発 10:20—正現稲荷神社 10:40—展望台 10:54—金立神社上宮 11:50—金立山頂上 12:06—昼食—吹上観音 13:16—教育キャンプ場 13:40—熊の川温泉—佐賀大和 IC 15:30—諫早着

(感想) 金立山は長崎自動車道の金立 SA で休憩をするたびにあそこに登ってみたいなあと思っていた山である。正面に見えるのが金立山だとばかり思ってたらどうも今まで金立山だと思っていた所は正現岳だったようだ。今回の山行では川原さんの計らいで佐賀労山のメンバーが3人も案内を買って出てくれた。とても心強い。金立山は緑のシャワーロードというのがあって網目のように細い道がはりめぐらされている。秋になると紅葉の美しいという紅葉谷からスタートした。ナンバー20, 21 と進んで正現稲荷神社で双眼鏡で遠くを眺めたりした。お金を入れなくてもいい双眼鏡だった。佐賀県は豊かである。頂上展望台には木製の展望台が作ってありまるでツリーハウスみたいで、みんなで登ったりして楽しんだ。近くの岩にも登ってみたいした。

佐賀県下でも珍しい石作りの金立神社上宮からは右を歩き珍しい岩を眺めながら歩いた。さて、金立山へのアクセスはここからまだ続くのだった。

佐賀労山の方達の案内のお陰で、往時と復時を同じルートを歩かない様に工夫して下さった。

奥の院のある頂上はあまり展望もきかず少し下りた所の原っぱで昼食にした。眺めも良く温かく気持ちの良い場所だった。下りはこれから又ちがうルートを教えてもらい吹上観音を眺めて教育キャンプ場を下りてきた。そこから佐賀労山おすすめの熊の川温泉に行き汗を流して家路についた。毎週水曜日は80人位登るといふ金立山の魅力が良く分かった一日だった。(山下 記)



3月30日 (金)

森山町 観桜会

(参加者) 小山・佐藤・中里・兵庫・佐原・林・林田・松園・山口・本秀・森・金丸
江崎 (OG) 会員外 (4名) 計 (17名)

お天気と桜の開花にめぐまれて充分に楽しめた一日でした。(*^^)v
諫早駅前ターミナル 8時55分発
(地区センター経由) 唐比行きのバスで出発。各停留所から、各人が乗り込み賑やかな車中でした。森山図書館前で下車、そこで合流する方もいて最終的には17名と多くの参加者でした。松園さんの指導の元、初めての参加の方々も一緒にストレッチをやりました。その後9時45分頃、唐比方面へ向けて出発しました。開花を心配していた、桜並木は前日からの気温上昇の影響か、6~8分に咲きほこり、みごとなものでした。その春の光景に皆さん御満悦でカメラを向ける方もい



らして、桜並木をゆっくりと楽しみました。その後、坂道を登り、向かったのは唐比展望所公園。枯れ草で歩きやすい展望所の頂上は広々として眺望が良く、遠くに島原半島や九千部岳、普賢岳が見えました。眺望を楽しんだ後、頂上から少し下り（1 1時半頃～）早めの昼



食をとりました。昼食中には、あちらこちらから、手作りの品々やお菓子が回ってきて、美味しい嬉しい時間でした。ゆっくりした後、(12時15分～)愛野バイパス迄、下って行き、風の森入口真向かいの山野草店に寄り、珍しい草花を見て回りました。ここで今日の山行は終了でした。帰りは、そこから、バスで早めの帰宅組・唐比温泉ゆっくり組・森山一周組の三組に分かれました。私は森山一周組で、かなりの時間を

歩き、疲れていましたが、最後に下牟田地区の二反田川の橋からも桜を見て疲れが吹き飛びました。それは美しい景色でした。そこから朝の集合場所前の、もぎたて市場に寄り、バスで4時頃帰宅しました。そして、他の組の方々の話では、それぞれに楽しみスムーズに帰宅できたそうです。今回は、桜の他、菜の花、ヒカンザクラ、ユキヤナギ、ツバキ、ヤマブキ、ジンチョウゲ、土手にはホトケノザ、ツクシなどを見る事が出来、春をいっぱい楽しめました。また来年も花見山行を楽しみにしたいと思います。皆さん楽しい一日をありがとうございました。
(金丸 記)

4月1日(日)

由布岳(1583.3m)日向岳(1085m)

(参加者) 川原、小山、福岡、中須賀、松園、下釜、山口、山下、田中(静)、円能寺
(10名)

(行程) 西諫早駅 8:30—由布 IC—由布岳正面登山口—登山開始—自然観察路—日向岳頂上—日向越え—東峰登り—東峰頂上着 13:00—昼食—またえ—正面登山口—由布 IC—諫早 IC—諫早着

(感想) 由布岳は以前から一度は登ってみたいと思っていました。

当日は寒い日でしたが大変天候に恵まれました。

頂上からの湯布院、別府湾を見渡す眺めは最高でした。山登りの幸せを感じる事ができました。わたくし事ですが四月からオレンジハイキングのメンバーに加えてもらうつもりです。今後ともご指導よろしくをお願いします。(円能寺 正弘 記)



4月8日(日)

岩石山 (454m)

(参加者) 中須賀、川原、田中(静)、林田、佐原、山下、山口、小山、松園、下釜、岩永、林、(12名)

(行程) 西諫早駅 7:10－高速金立 8:05－高速把木 9:00－添田町公園 9:40－同発 10:00－岩石山頂上展望所着 11:30－国見岩－八畳岩－昼食－下山開始 12:25－そえだジョイ (入浴)－高速把木－諫早

(感想)

福岡県添田町公園が登り口。公園ではイベントがあつて花見客でにぎわっていた。

すいとん1杯 200円等とはり紙がしてあつた。

低山(454m)で登りやすく変化に富んだ面白い山であつた。昔、山城があつたそう。英彦山の周辺は山伏の修験道で岩石山はその途中に位置する。表面は風化しているが頂上には巨大な花



崗岩の奇岩郡があり、梵字岩、獅子岩などの名前の大きな岩があつた。

八畳岩という広い岩がありそこでみんなそろって昼食を取る事にした。眺望もよかつた。スカートで登ってる人がいてびっくりした。

下山して、登山口の公園に戻ると昨年12月に平尾台で出会ったギタリストの青年に又会つた。若い人の曲なら沢山知っているだろうに青年の祖父母に近いだろうと思われる私達のために古い歌を考えながら伴奏してくれて皆で歌つ

た。可也山で逢う約束をしてわかれた。

車窓から見える景色は右も左も前も後も山の頂上も中腹もさくらさくらさくら・・・一日中、さくらを堪能したさくら日和であつた。

(林 孝子記)



ニュースがわからん!

ちずのじょうほう 地図に載せる情報って変わるの?



地図の作り方のイメージ

- **撮影**
飛行機に積んだカメラで地上を撮影する
- **現地調査**
空中写真だけで分からないものや、地名などを確認
- **データ収集**
企業や自治体などから設備などの情報をもらう



(国土地理院提供)
載せる項目は必要性などで判断する

載せる記号を変えた例

削除	追加	表記
古戦場 ✕	博物館	温泉(以前)
記念碑	図書館	温泉(現在)
送電線	風車	

復活

時代に合わせ、やめたり、追加したりするんだ

コブク郎 地図から送電線の記号が消えたって?

しまったんだ。コ どうして?

A 国土地理院が、これまでの紙の地図に代わって、昨年、新しくインターネットで公開した地図から、送電線の表記を消して

A 電力会社が、「テロの恐れがある」と送電線の位置を教えなかったんだ。コ 行けば見えるのに。A 実際「山登りの時、

目印に使うから必要だ」などの声が相次いだこともあり、復活が決まったよ。

コ 神経を使うんだね。A この地図は2万5千分の1の電子国土基本図で、市販のいろんな地図を作るときのものになって

る。大切なものなんだ。コ それで記号を消したり復活させたりするの?

A 何でも載せると地図が見にくくなる。何を載せて、何を省くかが地図作りの見せどころ。必要性が高いかどうかなどを根拠に基準を作る。その基準は時代に合わせて見直すよ。

コ 今はどんなものが載っているの?

A 学校や駅、警察署をはじめ約160種類の記号がある。以前は別の記号だった渡し船とフェリーが

つになった。逆に、区別されていなかった小学校と中学校は別々の記号になった。2006年にできた風車や老人ホームの記号は、子どもたちからアイデアを募集して作ったんだよ。

コ 地図って道を探すだけじゃないんだ。A そうだよ。「目印として使う人が少なくなっ

た」として消えた「記念碑」の印も「地域の文化や歴史を理解するのに役立つ」といった意見を受けて復活する。東京・渋谷駅前の「忠犬ハチ公」像も消えていたのが戻るんだ。

コ それにしても地図ってどうやって作るの? A 飛行機から写真を撮ったり、実際に現地に行って調べたりして作る。役所の資料を参考にするよ。地図は、生活に密着したものであるから良いものを作ってほしいね。

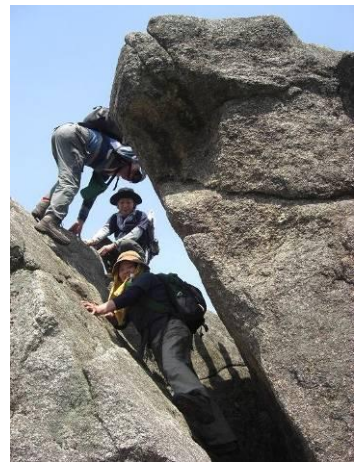
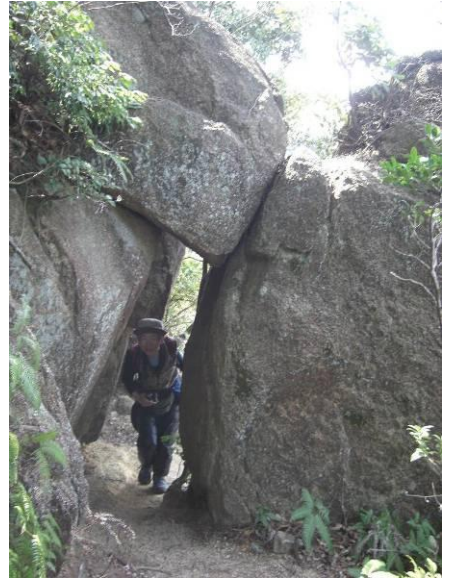
(小坪遊)

2012・4・16

この欄で、ききたい質問をお待ちします。wakaran@asahi.com



岩石山というからには岩だらけで、
登ったりくぐったりすわったり





3月20日金立山の帰り川面を泳ぐ
こいのぼりをみました。



由布岳を正面から下りて振り返ってみる



4月1日 春まだ早い由布岳の自然観察路

岩石山の展望台



おれんじニュースNo266	
発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡正廣
編集責任者 及び 原稿送付先	山下ちず子
発行年月日	2012.4.25
財政担当	
郵便振替講座	
ホームページ	http://orangehikingclub.web.fc2.com/

編集後記

オレンジHCニュースの編集をまかされて二年が過ぎました。いつも写真や面白い感想などお寄せいただいております。皆さまのご協力でニュースができていきます。今後もよろしく！